

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [岐阜県立恵那高等学校] 担当教諭名 [夏目 佳代子] (英会話部 11名)

相手国・地域 [クロアチア]

海外学校名 [Privatna Sportska I Jezicna Gimnazija Franjo Bucar] 担当教諭 [Petra Zenic]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	70

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Be part of creating a harmonious and equal world 調和のとれた平等な世界をつくる一員になろう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	ジェンダー平等や気候変動は、他人事ではなく、自分たちの問題だ。私たちがこの状況を引き起こしたのだから、私たちが周りの人々、世界の人々と一緒になって解決していかなければならない。利己主義をやめ、自分や他人を教育し、次の世代のことを考えることが大切だ。環境との関係やジェンダーに関する固定観念など、私たちの考え方を変える必要がある。すべての人にとってよりよい未来をつくるためには、性別に関係なくすべての人を尊重し、親切で協力的であることが大切だ。私たちはみんなの手本となるように、自分自身から、家庭から、学校から、町から始めていく。そうすることで、人間、植物、動物が調和し、性別に関係なく誰もが自分が望む生き方ができる世界をつくることできる。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習を相手校と同じ流れで行い、意見交流することで、様々な考えに触れ、生徒自身の視野や考え方を深めることができた。国を超えて同年代の生徒と協働学習を行うという経験は、自身の価値観や行動を変えることにつながっていくものになった。 ・世界共通の課題について参加型の手法を取り入れて学び、他国の人々の視点を知ることで、自国の現状や自分の考え方について多面的にとらえることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通のSDGsのゴールを2つ設定したため、テーマ学習の時間が十分に取れない部分があった。 ・学んできたことを、部活動以外の場で発信する機会をもてると、さらに主体的に行動する力をつけることにつながると考える。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に話したり、フォーラムで交流したりすることで、相手や相手国をより近く感じるようになった。 ・地球温暖化やジェンダーについて、日本だけの問題ではないこと、クロアチアの生徒も自分たちと同じ考えをもっていることに気づき、自分の考え方や行動から変えていこうという思いをもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に同年代の生徒と交流し、考えを共有することで、インターネットで調べるだけでは分からない気づきや学びがある。相手がいることで、主体性や積極性が生まれると感じた。 ・相手校の先生と同じ思いをもってプロジェクトを進めることができ、国を超えても同僚のように感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を作成する。 ・クロアチアについて調べ学習を行い、興味をもったことについてプレゼンテーションを作成する。 ・SDGsについて学習する。 ・Goal13について学習する。 (温暖化の原因と影響について考える。／日本、岐阜県における温暖化の現状や影響、将来予測、防止対策について調べ、プレゼンテーションにまとめる。) ・Goal5について学習する。 (世界の女性差別の現状について知る。／ジェンダー・ギャップの現状について知る。／〇〇らしさ、アンコンシャスバイアスについて考える。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロアチアやパートナー校の生徒について興味をもち、さらに知りたいという思いをもった。 ・衣服の製造や牛肉の生産過程にも、地球温暖化の原因があることを知り、驚くと共に、自分たちの生活を見直すことにもつながった。 ・地球温暖化が進むと人間、動物、環境すべてに悪影響が出るということに気づき、自分ができるところから始めよう、何ができるのだろうと考え始めた生徒が多かった。 ・他国の状況と比較することで、日本のジェンダー・ギャップが大きいことを知り、無意識の思い込みがあることに気づいた。 	部活動20
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 Zoom meeting:テーマ学習(Goal13)の成果を発表する。 ・気候変動に対して自分たちにできることを考える。 ・第2回 Zoom meeting:テーマ学習(Goal5)の成果を発表する。 ・フォーラムやZoom meetingで共有したことを踏まえ、さらに意見交換をして考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化の影響は、日本だけでなくクロアチアでも見られることが分かり、国を超えて解決しなければならない課題だと改めて考えることができた。国の温暖化防止対策の共通点と相違点を見つけることができた。 ・クロアチアの生徒から質問されることによって、日本の現状や昔からの考え方について多様な視点から考えることができた。 	部活動15
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな未来をつかっていきたいか、望む未来をつくるために、自分たちにできることは何か、考える。 ・第3回 Zoom meeting:壁画に込めるメッセージについて意見交換する。 ・メッセージが伝わるデザイン案を考える。 ・第4回 Zoom meeting:壁画デザインについて意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習で学んだことやクロアチアの生徒との意見交換を基に、望む未来、自分たちにできることを具体的なメッセージにすることができた。その中で、今の現状は人がつくり出してきたものであるから、他人事ではなく自分たちを変えていかなければ、という当事者意識が生まれた。 ・デザインが決まるまでに何度もやりとりをし、お互いの意見を十分に取り入れたデザインを考えることができた。 	部活動10

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画を制作する。 ・年賀状を作成する。 ・これまでの活動を振り返る。 ・相手校の壁画制作の様子をフォーラムを通して知る。 ・クロアチアの生徒へメッセージ動画を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージに込めた思い、未来への希望を絵に描き表すことができた。 ・Goal5について学習してきたことを生かし、色で性別を分けないようにしたり、髪型や肌の色を工夫するなど、性別にかかわらず共生している様子を表現できた。 	部活動15
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介動画、地元紹介プレゼンテーションを作成する。 ・壁画の鑑賞をする。 ・クロアチアの生徒へメッセージ動画を送る。 ・学習を振り返り、自己評価を行う。 ・第5回 Zoom meeting:プロジェクトのまとめ、感想共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロアチアの生徒と壁画を創り上げることができたことに喜びを感じた。 ・クロアチアの生徒からのメッセージを読んだり、町について知ったりし、さらに興味をもった。 ・プロジェクトを通して学んだことを、今後に活かしていきたいという思いをもった。 	部活動10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	クロアチアの文化を調べたり、相手校の生徒のプレゼンテーションを見たりし、非常に興味をもった。相手校の生徒が日本文化に興味をもってくれたことがうれしく、それに応える形で学校、文化紹介ができた。
主体的に考え行動する力	4	テーマに関して、日本語でも英語でも自分の意見をしっかりともち、伝え合うことができた。課題に対して当事者意識をもち、自分たちの考え方や行動を変えていきたいという思いを強くした。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	当たり前だと思っていたことについて客観的に考えることができた。メッセージやデザイン案を考える際、相手校の生徒の意見を聞き、思いがしっかり伝わるデザインであるか、新たな視点から考えられた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	相手の意見をしっかりと理解した上で、考えを深め、発展させることができた。相手校の生徒へのメッセージを意欲的に書いたり、伝えたりできた。仲間意識をもって協働学習に取り組むことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	学習してきたことを踏まえて、世界に伝えたいメッセージを言語化し、人、自然、動物が共生している様子や、無意識の偏見を絵で表すことができた。テーマが伝わるよう、表現方法や配色を工夫した。